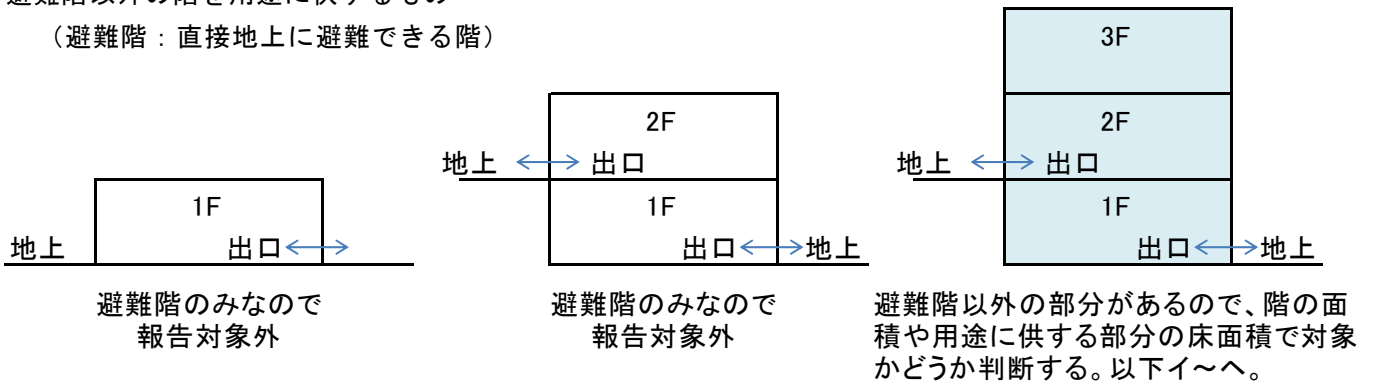
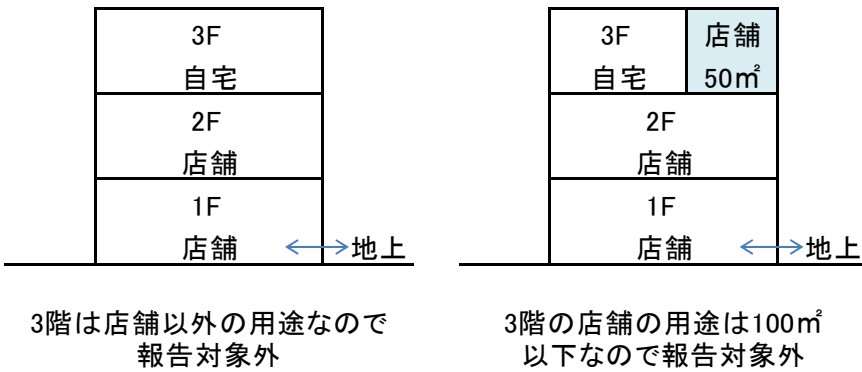
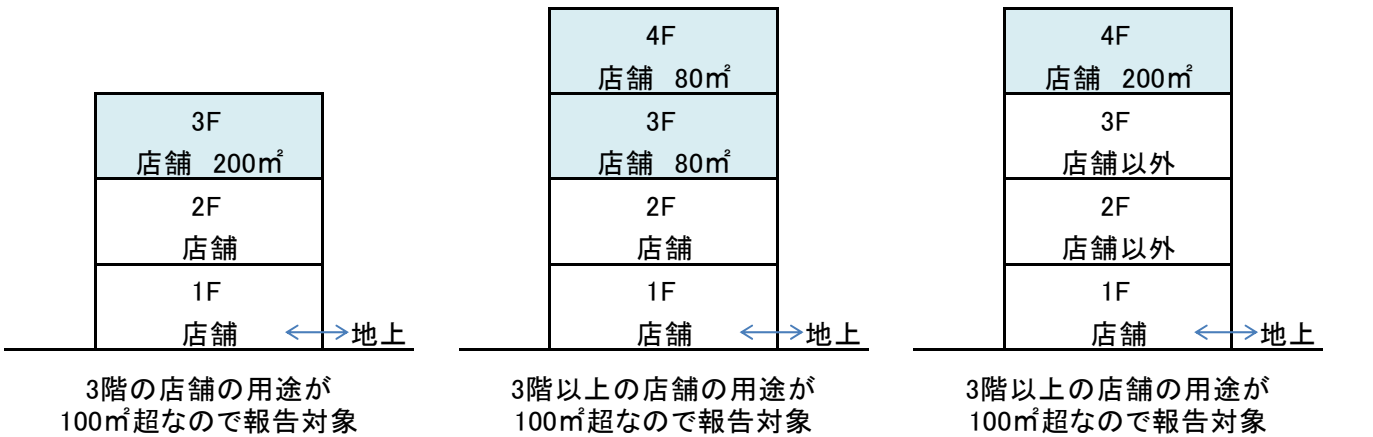


定期報告が必要な建築物の判断について

- 避難階以外の階を用途に供するもの
(避難階：直接地上に避難できる階)



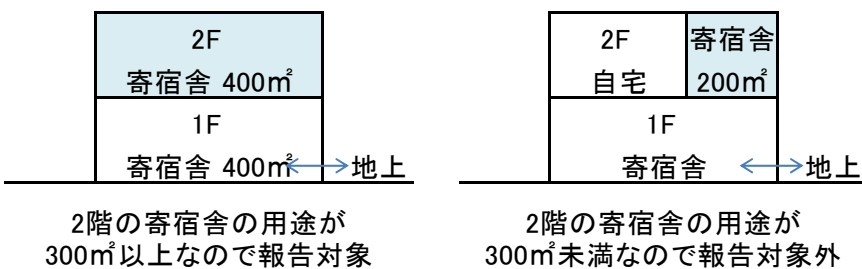
イ. 当該用途(100㎡超の部分)が3階以上の階にある場合



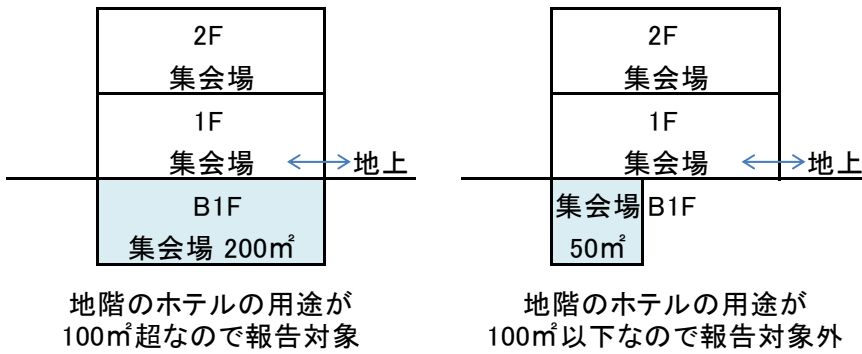
※当該用途の倉庫や休憩室など、その用途に付属する部分も当該用途部分として扱います。

■ : 判断に要する対象部分

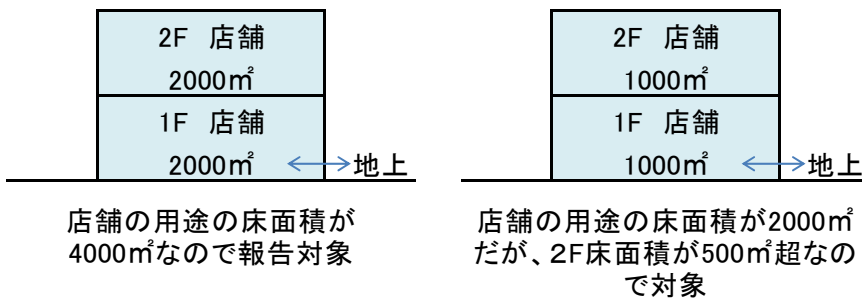
ロ. 2階にある当該用途の床面積が300㎡(500㎡※)以上の場合



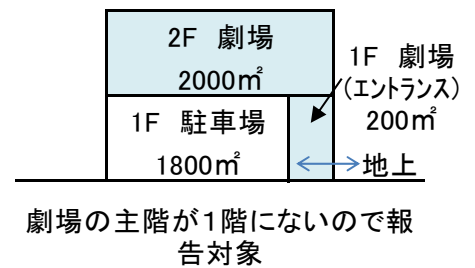
ハ. 当該用途(100㎡超の部分)が地階にある場合



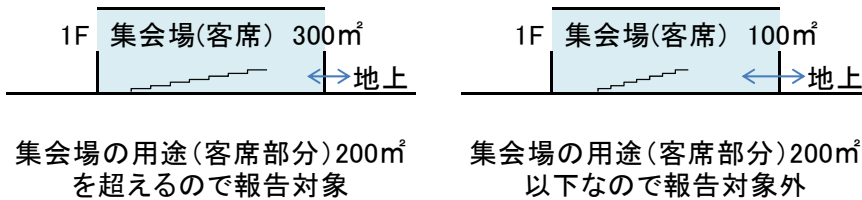
二. 当該用途の床面積が3,000㎡以上の場合



ヘ. 主階が1階にない場合

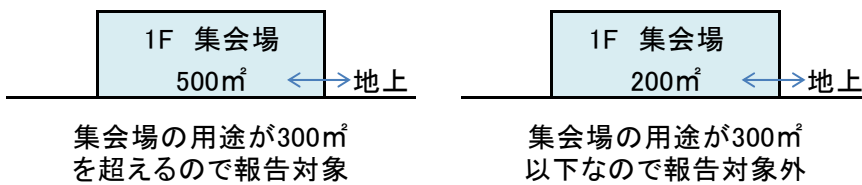


ホ. 当該用途の床面積(客席部分)が200㎡以上の場合



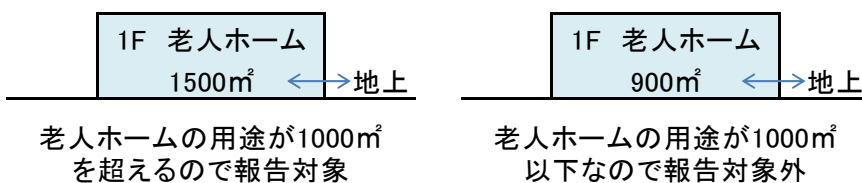
※(1)②の客席面積が200㎡未満でも、(2)の床面積が300㎡超の場合は対象

■ その用途に供する部分の床面積が300㎡を超えるもの



※劇場、映画館、演芸場、観覧場(屋外観覧場を除く。)、公会堂、集会場(地区公民館を除く。のみ)。
※固定席のある体育館は集会場扱いとなります。

■ 老人短期入所施設及び各種老人ホームにあつては、その用途に供する部分の床面積が1,000㎡を超えるもの



※老人短期入所施設及び各種老人ホームのみ。